

コード	101020104
記入日	H21.5.20

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島紀昌
担当者	青山一信

事務事業途中評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	イベント事業費
----------	---------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10102	基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進	目コード	3
事務事業コード	1010201	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画				法令・条例規則等	

計画 (PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象: 誰、何を対象にしているのか		対象指標: 対象の大きさを表す指標			
(対象1) 一般観光客及びツアー観光客 (対象2)		(対象指標1) 191,044人 (対象指標2)			
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)			
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
*****	季節毎のテーマで旅行会社等へ誘致活動ができるイベントを行った。 1. 蛤浜で遊ぼうDAY & 白砂の芸術祭 7/26~8/9 2. 上五島教会めぐりウォーク&クルーズ 10/11~12 3. 五島うどんフェスタ 2/1 4. チャーチウィーク・教会コンサート 12/9~14	***** 開催日数	***** 24日	***** 100%	開催日数24日÷計画した開催日数24日×100 ***** 平成20年度
		① (達成率分析) 計画した事業に関しては完全実施した			
		***** 会議開催回数	***** 4回	***** 100%	会議開催回数4回÷計画した会議開催回数4回×100 ***** 平成20年度
		② (達成率分析) 事業計画により春夏秋冬に分けて実施			
目的: 何をしたいのか		成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)			
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
上五島の「四季」に焦点を当て、海・教会・五島うどんなどを活かして、地域の魅力向上を図るイベントを実施し、島外観光客及び町内地域住民に通年的に提供することによって、島外からの集客力の向上と「食」の魅力の定着及び消費拡大を図るとともに賑わいの創造と交流人口の拡大を目指す。		***** イベント集客数	***** 6,990人	***** 109%	イベント集客数6990人÷目標集客数6,400人×100 ***** 平成20年度
		① (達成率分析) どのイベントも概ね集客目標人員を上回ることができた。			
		② (達成率分析)			

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 日	51	51	27	24	24					
	② 回	15	15	11	4	4					
成果指標	① 人	16,680	17,270	10,280	6,400	6,990					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	63,663	64,823	34,763	28,900	30,060					
直接事業費 A	千円	5,563	6,723	3,263	2,300	3,460					
人件費 B	千円	58,100	58,100	31,500	26,600	26,600					
内訳	従事職員数	人	8.3	8.3	4.5	3.8	3.8				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	63,663	64,823	34,763	28,900	30,060					

コード 101020104

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	これからの主要産業として観光事業は不可欠である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	世界遺産の暫定リストに本町の二つの教会が対象となるなど、これからの観光地としても注目を集めており必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	町の特性を活かした島外へ向けての情報発信イベントとして適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	まぎれもなく島外からの観光客は増加傾向にあり、成果をもたらしている。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	さらに島外向けのイベントとして仕上げる余地がある。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	島外へ向けた観光イベントとしてのツールがなくなり、知名度向上につながらない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	町の特性を活かした事業であり、整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	町の新しい産業として外貨を稼ぎ、地域経済を活性化するためにも事業費の削減はできない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	削減できる人件費はない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	参加者から適正な費用を徴収している。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	本町は、『明日の世界遺産に出会う島・上五島』を観光振興ビジョンのテーマに掲げており、その実現のためにも地域性を活かした特色あるイベントは重要である。
		有効性	さまざまなイベントを通して、町民総参加による観光振興を図り、また島の特色ある情報発信を行う中から、質の高い交流人口の拡大を図る必要がある。
		効率性	今後、さらに島外からの観光客増加に向けて、現イベントに磨きをかけ、宿泊施設等のサービス向上など受け皿の整備を行う必要がある。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	1次評価のとおり
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。